

パレスチナ「土地の日」記念講演

「土地の日」：抵抗を称賛して

3月30日、イスラエル軍が6人の若いパレスチナ人イスラエル市民に発砲して殺戮した1976年の「土地の日」をパレスチナ人は記念します。これらの勇敢な青年たちは、イスラエル政府によるパレスチナの土地収奪に抗議する数千人の中にいました。今日、わたしたちはイスラエルの進行中の土地収奪、植民地化、占領とアパルトヘイトに対するパレスチナの抵抗を称賛し続けています。

- BDS National Committee

<http://www.bdsmovement.net/2013/land-day-celebrate-resistance-and-intensify-bds-10745>

パレスチナの現代美術

日時：2013年3月28日[木]：午後7時-9時

会場：ブックカフェ槐多 キッド・アイラック・アート・ホール地下

料金：無料（カフェですのでドリンクオーダーが必要です）

主催：Artists Against Occupation（占領に反対する芸術家たち）

2003年5月から10月まで、テキサス州ヒューストンのステーション・ギャラリーで、パレスチナのアートを集めたMADE IN PALESTINE (http://www.stationmuseum.com/Made_In_Palestine/Made_In_Palestine.htm)が開催された。米国で開催されるパレスチナに特化した初めての展覧会だったと思う。キュレーターでもあった館長のジェイムス・ハリサスに「シオニストが異議を唱えたら？」と訊ねると「ユダヤ人作家を集めた展覧会もやると言う。もうパレスチナのアート展をやる時期だと考えた」と応えた。

そして2009年6月から9月まで開催されたPalestine % Venice (<http://www.palestinecovenice09.org/Homepage.html>)が、ヴェニス・ビエンナーレへのパレスチナ最初の参加を記すこととなった。米国でインデペンデント・キュレーターのキャリアを重ねた

やはりパレスチナ人、サルワ・ミクダーディがこのPalestine % Veniceのキュレーターを務めた。

この地、東京でも、パレスチナに特化した展覧会ではないが、「アラブ・エクスプレス展」(http://www.mori.art.museum/contents/arab_express/)が、2012年6月から10月まで森美術館で開催され、パレスチナ作家、ルーラ・ハラワーニ、ジャアファル・ハーリディ、ターレク・アル・グセイン、シャリーフ・ワーキド、エミリー・ジャーシル、ハリール・ラバーハ、スーハ・ショーマンが出品し、サルワ・ミクダーディがカタログに文章を寄せている。

「前衛のための芸術か、芸術のための前衛か」が、戦後日本美術界の論争だったが、パレスチナ作家たちはその論争を飛び越え、まさに戦時下、革新のための芸術を革新的に展開してみせる。

背景作品：

上段 - ムスタファ・アル・ハラージ (MADE IN PALESTINEより) 重なって中段 - タイシル・バトニージ (Palestine % Veniceより) 重なって下段 - ターレク・アル・グセイン (アラブ・エクスプレス展より)

ヴェニス・ビエンナーレ Palestine % Venice 報告：

大榎 淳 (Jun OENOKI メディア・アーティスト Artists Against Occupation創立メンバー)

移動の不可能性 - タイシル・バトニージ、エミリー・ジャーシル、ルーラ・ハラワーニの作品を中心に：

八鍬瑞子 (Mizuko YAKUWA 彫刻家 Artists Against Occupation創立メンバー)

キッド・アイラック・アート・ホール

TEL.: 03-3322-5564

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-43-11

京王線/京王井の頭線・明大前駅より徒歩2分

